

【テーマ】

「立地選定のポイントや資金調達について学ぼう」

日本政策金融公庫が三好不動産、日本商業不動産保証と共に

創業支援セミナー開催

福岡市の「グローバル創業・雇用創出特区」の指定を受けて

〔3部構成〕



福岡市START UP CAFEでのセミナーの様子

福岡市 START UP CAFE

（株）日本政策金融公庫国民生活事業（福岡市博多区博多駅前3丁目）と（株）三好不動産（福岡市中央区今川1丁目）、（株）日本商業不動産保証（東京都港区海岸1丁目）が1月21日、福岡市中央区の福岡市 START UP CAFEで「立地選定のポイントや資金調達について学ぼう」をテーマに創業支援セミナーを開催した。

3氏が講演

福岡市が国家戦略特区のひとつ「グローバル創業・雇用創出特区」に指定されたことを受け、民間金融機



日本政策金融公庫国民生活事業九州広域営業推進室上席室長代理の高橋祐司氏

関の補完金融機関として創業支援のための積極的な融資活動を行っている（株）日本政策金融公庫国民生活事業が、事務所や店舗などのテナント仲介に力を入れている。



日本商業不動産保証代表取締役の豊田順也氏

（株）三好不動産、オフィスビル賃貸の敷金・保証金の半額を保証するサービスを展開している（株）日本商業不動産保証とともに開いたもの。当日は、オフィスや店



三好不動産ソリューション事業部リーシンググループの佐藤貴之氏

舗を借りて創業したいと考えている人やオフィス・店舗賃貸のトレンドを知りたいという人ら約20人の参加があった。

第1部ではまず、（株）三好不動産ソリューション事業部リーシンググループの佐藤貴之氏が「創業における立地選定のポイントや最近のトレンド」というテーマで講演。「福岡のオフィスビルの空室率は10%ほどで、全国的に見ても悪くない。博多駅と天神は直近だ」とり%で推移。オフィスビルの供給がひと段落して、

「三好不動産ソリューション事業部リーシンググループの佐藤貴之氏」

空室はほとんど埋まっている。天神地区の坪単価の平均値は1万円ちょっと。周辺の基院や渡辺通りだと1万円を切る。博多駅は天神に比べると、坪単価は安い」と話した。続いて登壇した（株）日本商業不動産保証代表取締役の豊田順也氏は「オフィス・店舗敷金を半額にするサービスについて」をテーマに講演。「事務所や店舗を借りようとする人は、通常3ヶ月分の敷金・保証金が必要となる。しかも、そのお金はテナントとして入っている間は預けつ放し。本来、そのお金は事業資金に回す方がよい。当社では、その敷金・保証金の半分を保証するという信用保証を行っており、「保証金半額くん」という商品を出している。大手損保会社のバックファイナンスとして保険を使ったビジネスで、信用もある」と話した。

第2部では「創業時の資金調達について」というテーマで、日本政策金融公庫国民生活事業九州広域営業推進室上席室長代理の高橋祐司氏が講演。「当事業は旧・国民金融公庫の事業を継承した会社で、これから事業を始める方やすでに事業を行っている方に融資を行う政府系金融機関。創業者の増加は、経済の活性化や雇用の創出した効果が高い。そこで当事業としても積極的な融資活動を行っている。融資は無担保融資が中心で、金利は固定金利。また、第三者の連帯保証人は原則不要といった特徴がある」と話し、「新規開業資金」や「女性・若者・シニア起業家資金」、「生活衛生貸付」、「新創業融資制度」と、創業時に使いやすい4つの商品の説明を行った。

第3部の名刺交換会ならびに個別相談会では熱心に創業についての相談する参加者の姿もあり、主催者側も大きな手ごたえを感じた様子だった。